

五霞町立学校のあり方検討会 春日部市立江戸川小中学校視察報告

1 日 時 令和元年 11 月 25 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 3 時

2 視察内容 (1) 春日部市立江戸川小中学校の特色について
(2) 施設見学

3 視察人員 五霞町立学校のあり方検討会会員 15 人
五霞町教育委員会 教育長 事務局職員 3 人 合計 19 人

4 春日部市立江戸川小中学校の概要説明（校長）

- ・準備段階から先生方は大変苦労されたが、しっかり準備していただき、本年 4 月に開校した。
- ・お子さんは順応が早い。
- ・地域、保護者の協力は不可欠である。
- ・統合前は児童が 3 人のクラスがあった。運動会も地域の方、保護者が多い雰囲気で行っていた。複式学級になるところを、市費、市の職員として先生を配置し複式学級を回避した。現在も 4 年生が 11 人、5 年生が 13 人であるが、今年度の運動会は活気が出たという反応が多かった。
- ・検討から開校まで 5、6 年かけてできた学校である。
- ・1 年生と 7 年生時に学校を選択することができる。
- ・大きい特徴は 4 年（ジュニア）・3 年（ミドル）・2 年（ハイ）制で、小中一貫校では、全国的に見ても 1 番広がっている教育課程形態である。
- ・ミドルは半分の教科が教科担任制をとり、部活動に参加できる。
- ・時間割はミドルから 50 分授業で行い、昼休みなどの時間は全教育課程を合わせている。
- ・1 年生と 9 年生が同じ場所で遊ぶ・関わることで大きな効果がある。表情が柔らかく、下の子の面倒を見ている。
- ・異学年交流は、学年の組み合わせで様々な効果を得ている。
- ・ランチルームでは、富多神社の神楽練習、放課後児童クラブ、オープンスペース等に使用している。
- ・縄跳びでは、埼玉県なわとび選手権大会で 6 人が優勝した。学校の特色としては続けることが大切であると感じている。
- ・水泳授業は、スイミングスクールと連携しバスで送迎をしている。
- ・学区は広く、歩いてくるのは不可能な場所がある。今年度は、民間委託により 2 台のスクールバス送迎をしている。来年度は人数が増える見込みのため、3 コースとなる予定である。



5 質問事項への回答

(1) 小学校2校、中学校1校の現状維持を諦めざるを得なかった理由

(2) 小学校統合に留まらず、小中一貫校とした要因

(回答：春日部市教育委員会)

- ・(1)、(2)については、地域の方に慎重に協議をいただいた。事務局から方向性を示してはいない。
- ・3校とも長い歴史がある中で、複式学級が見込まれるほど児童数が減少した。
- ・PTA、地域の方々からなる、望ましい学校を検討する組織を立ち上げ、複式学級を回避したいこと、小学校だけの統合だと将来的な減少を止められないのではないか、という意見から義務教育学校を目指してほしいと教育委員会へ具申いただいた。

(3) 小中一貫校の設立で学校現場が配慮した事項

(回答：江戸川小中学校長)

- ・スムーズに統合するためには、1年生から9年生までの制度をどううまく活用するか。小中一貫校であれば、小学校、中学校別々ではできないことができる。
- ・学校行事が小学校、中学校それぞれあるため、今までの通りやろうとすると大変なことになる。うまく組み合わせて、実際やってみて分かることもあり、途中修正して議論しながら進めている。
- ・小学校と中学校の文化を摺り合わせていくことも配慮した。
- ・地域の支援いただいております、地域の方々喜んでいただけるようにすることも配慮した。
- ・運動会では、駐車場の確保が新たな問題となった。対応中であるが、まだ完璧には対応できていない。
- ・子どもたちが明るく元気に過ごせることが一番である。

(4) 各校のPTAや学校へのサポート体制の融合で配慮した事項

(回答：江戸川小中学校教頭)

- ・有志に集まっておいただき、義務教育学校後援会発足素案を作成した。

資料：江戸川小中学校後援会発足の経緯

(5) これまでの地域コミュニティから新地域コミュニティへの移行で配慮した事項

(回答：江戸川小中学校長)

- ・コミュニティ、地域のつながりは強いので、大切にしながら進めた。
- ・あいさつ回りをして顔を覚えてもらい、コミュニケーションが取りやすくなった。

(6) 小中一貫校の設立による児童生徒の変容、成果

(回答：江戸川小中学校長)

- ・子どもたちは順応性が早い。
- ・昨年準備は始めていた。横・縦のつながり、仲間という意識が強い。
- ・小規模特認校のため、学区外から通学している子をどう巻き込んでいくか。コミュニケーションの場作りを大事にしていきたい。

6 校内巡回(14:15~14:38)

- 増築分ジュニア棟では、校庭側テラスに下駄箱を配置するなど成長段階に配慮した工夫が見られた。



- 統合までの各校の歴史や校旗が展示されており、地域や成り立ちを大切にしていると感じられた。



7 質疑

(質問1) 授業参観は全ての学年を1日で行うのか。兄弟がいると保護者は大変ではないか。

(校長) まとめて行うのではなく、ジュニア、ミドル、ハイを組み合わせ、分けて行っている。

(質問2) 進学指導については。

(校長) 不利があってはならない。他の中学校と同様に対応している。35人、40人といった学級より丁寧に対応できている。様々な学校を志望し、あらゆる学校に行ける選択肢がある。

(教頭) 少人数を活かして指導している。

(質問3) 農村地帯は少子化が厳しい。今日は統廃合だけでなく新しい一貫教育を勉強させていただいた。春日部市で参考とされたところを教えてください。

(教委) 平成23年度から春日部教育委員会は、地域を限定せずに特色ある教育づくり及び適正規模について検討し、小中一貫教育及び学校再編に関する基本方針を決定した。市内13校区で説明会を行っている。今年4月1日に市内武里南部地域でも廃校があった。平成28年度に義務教育学校が制度化され、栃木県小山市、茨城県水戸市を参考とした。

(質問4) 通学はすべてスクールバスで送迎なのか。

(校長) 近所の場合は徒歩で通学している。

(質問5) 登下校の見守り活動はあるか。

(校長) バス停までは保護者が送迎を行っている。到着時間は周知している。バス停は300m以内



にできるよう設置している。

(質問 6) 迎えに行けない場合は、放課後児童クラブで対応か。

(校長) 子どもだけで帰る場合もある。

(教頭) 子どもの安全を守る会という高齢の方達の組織もあり、見守っていただいている。保護者が車で送迎している場合もある。

(質問 7) 部活動はどのように行っているか。

(校長) 5年生から参加できる。希望制で5, 6年生の半分が入部している。部活動数は絞っていて、ない部活動は地域のクラブに参加している。主に活動するのは中学生で、5, 6年生は準備段階である。

(質問 8) 英語に力を入れているということですが、ALTの配置はいかがか。

(校長) 各中学校に1名配置されている。

(指導主事) 近隣の小学校を2, 3校受け持っている。

(校長) 義務教育学校導入により、校長は小学校枠で、中学校の校長が減となる形になるので、加配として中学校へ英語の先生に入っていただいている。校長と教育委員会で打ち合わせた。



(教頭) JETも週に1回活動している。

(質問 9) ずっと同じクラスというのはいい面も課題もあると思う。

(校長) どこでも起こりうる問題として、人間関係が崩れると大変である。分かった段階で丁寧に対応している。糧にして成長して欲しい。今のところ、対応できなくなるようなことはない。今後も丁寧に対応をしていきたい。

(教頭) 人数が少ないという弱みを強みにするのが、縦割りであ。ああいうお兄ちゃんになりたい、お姉ちゃんになりたいという目標にもなる。

(質問 10) 給食はどうしていますか。

(校長) センター方式です。

(質問 11) 児童生徒の力関係は定着しないか。

(教頭) 9年生、6年生、2年生等、それぞれリーダーシップを取れる場面を作っている。

(教頭) 小学校と中学校が一つになったことにより、生徒指導も組織対応できるようになった。



会員の皆様からの感想

○学校の説明について

- ・児童生徒はすぐに順応するということが、又、保護者の協力は必須であるということ。特に保護者、地域の意見をよく聞いて、皆が納得できる方向を示していければ良いと考えます。
- ・丁寧な説明でよく分かりました。
- ・大変参考になりました。
- ・具体的に話を聞くと課題が多く、統合などを実現するには時間がかかりそうだと実感しました。
- ・開校に当り5年位の準備が必要であったという話に改めて大変さを感じた。
- ・教育課程についての説明が明確で分かりやすかった。
- ・特色ある教育活動の内容が興味深く感じられた。
- ・校長先生をはじめ先生方の説明の仕方が分かりやすく、とても有意義でした。
- ・一貫校のあり方、意味、将来性を理解できた。
- ・9か年の分け方（ジュニア・ミドル・ハイ）が印象的でした。
- ・大変参考に成りました。これからの五霞を考えた時、東西の統合はさけられないと思いましたが、決して悲観的にだけ考えるのではなく、今日の説明の様に地域、保護者、そして子供達の将来を考えた話し合いを続ける事の大切さを実感した次第です。
- ・早期からの教科担当、9か年を見通した指導、異学年交流等の説明を受け、創立からまだ日が浅いのでわからないところもあるが、既存の学校と違った効果が期待できるのではないかと感じた。
- ・校長先生からの概要説明を戴き、全体の様子を把握できた。
- ・小規模学校の準備を入念に対策をしてスタートしているので参考になりました。
- ・統合した各学校の歴史を大切にしていると感じました。

○子どもたちの様子

- ・すれ違うと明るくあいさつしてくれたので、とても素直な子どもたちだと感じました。
- ・授業も楽しそうでした。
- ・挨拶がきちんとでき、気持ちよく感じました。
- ・表情が明るく、のびのびと学習していました。しっかりあいさつができ、おだやかな表情・様子だった。
- ・明るい印象を受けました。
- ・とても良いあいさつも出来ており、のびのびとした感じにほっとした様な気持ちです。今どきの勉強は自主性を重んじている事が良く解りました。
- ・今回の視察だけでは、よくわからない。
- ・地域性から、落ちついた生徒が多く、明るく元気な挨拶が聞こえてすばらしかった。
- ・小規模ならではの伸び伸びとした様子でした。
- ・あいさつもしっかりしており、健康的な印象をうけました。

○教室等の雰囲気（配置や動線）

- ・校舎は9学年一緒が良いと感じます。五霞町で実現させるとしたら中学校に小学校の低学年棟を作ることが良いと思います。
- ・ジュニア棟では様々な目的の部屋があって良かったです。
- ・異学年が同じ階なので、それも良い影響を与えているのかな？と思いました。
- ・ふれあいコーナーの設置に好感が持てた。（教室とは違った空間のスペースが良い。）
- ・ランチルームは、とても理想的である。
- ・図書室の雰囲気がよい。（あたたかい感じが伝わってきました。）
- ・校内に写真の展示が多く、とてもなごみました。
- ・少人数の為か、全体的に落ち着いているような気がしました。
- ・小学生と中学生の境がなく、小・中の壁を感じにくい。
- ・工夫がこらされている印象でした。
- ・バルコニーから直接校庭に出られるのは良いと思いました。
- ・新しく清潔感があって良いと思いました。
- ・少人数ながらお互いを見ながら意見を聞き答えを言うとてもいい感じであったと思います。
- ・今回の視察だけでは、よくわからない。
- ・ジュニア棟のテラスと、そこに設置された下駄箱がユニークでした。
- ・清潔で良かった。
- ・統合した各学校の歴史を大切にしていると感じました。
- ・黒板等、備品が最新のものが置かれていた。
- ・1～4年生（1階）の洗面・トイレの雰囲気が明るく素敵でした。

○先生方の雰囲気・様子

- ・アットホームな雰囲気でした。
- ・中学生のクラスでは、活気のある先生の授業に生徒達もいきいきしている姿を見ることができた。
- ・小学生のクラスの先生は、静かな指導で、生徒との距離が近いような気がしました。
- ・少人数ということもあり、全生徒、児童を把握でき、あたたか味を感じた。地域住民と共に子どもたちを育てている様子を感じた。
- ・特別な印象はありませんでした。
- ・教頭先生や教育委員の方そして校長先生だけでは有りましたが、熱心に説明を聞き感謝です。
- ・今回の視察だけでは、よくわからない。
- ・どの学級の先生方も、明るく意欲に充ちた指導をされていた。
- ・職員室の雰囲気は把握できなかったが、横のつながりのもち方を伺いたい。
- ・全教科の指導には、単学級で確保が難しいであろう。
- ・新たな教育に熱意を感じた。
- ・特色ある教育活動や、新しい体制に一生懸命取り組んでいるのを感じました。
- ・1～9年生の先生方が、職員室で共通認識をもてることは、すばらしいと思います。

○その他・全体として

- 方向性を決定した後、準備が大切であると感じた。
- 準備期間をしっかりと取って進めていく必要がある。
- 少人数ならではのメリット・デメリット（課題）をよく見て、今後検討していきたいと思います。
- 先生方がとても熱心で、勉強されている感を強く実感しました。
- 今回の視察をさせていただき、今後の動きについて学ぶことができましたことに感謝致します。
- 地域と学校の結びつきが強く、ひらかれた（オープンな）学校で、子供たちも安心して、通学・学習ができていると感じた。
- 学校その物もきれいでしたし、昔ながらの歴史のある学校である事をきちんと残し子供達に常日頃から話していると思うと、他人事ながら嬉しく成りました。ただ自分自身も少し勉強して行くべきであったと後悔しています。又、他の学校も研修の機会があれば是非参加したいです。
- 五霞町には、江戸川小中学校が感じていた危機感がないと感じる。
- 検討のスタートに違いがありすぎる。（進め方が五霞になじむのか疑問である。）
- 施設のあり方としては良いのかもしれないが、単純に人数が増えることが良いことなのかは疑問である。
- 特別支援学級が未開級とのこと。その対策として、算数・数学は熟練度別に少人数指導で行っている。自情や言語に障害のある子どもへの対応が求められるのではないか。
- 1年～9年生まで一緒に学び生活する「縦割の良さ」が強みであるという話が印象的でした。
- 地域の協力が欠かせない、という実感があります。
- 児童・生徒数の増加による駐車場問題は、たしかに重要です。
- 5年後、10年後のいろいろな可能性を考え抜いて、結果を出すべきと思いました。

五霞町立学校のあり方検討会

五霞町立学校視察報告

- 1 日 時 令和元年 12 月 16 日（月） 午後 1 時 00 分～午後 3 時
五霞町立五霞東小学校 午後 1 時 10 分～午後 1 時 40 分
五霞町立五霞西小学校 午後 1 時 50 分～午後 2 時 20 分
五霞町立五霞中学校 午後 2 時 25 分～午後 2 時 55 分
- 2 視察内容 施設見学
- 3 視察人員 五霞町立学校のあり方検討会会員 13 人（うち各校長は各校にて視察対応）
五霞町教育委員会 教育長 事務局職員 3 人 合計 17 人
- 4 会員への配布物
 - ・意見記入用紙
 - ・各校配置図
 - ・各学校要覧
- 5 視察の流れ ①最初に外で施設全体の説明（配置図も見ながら）
②低学年、中学年、高学年それぞれ 1 クラス程度を静かに視察。
③特別教室、体育館等の確認。

（五霞町立五霞東小学校）





(五霞町立五霞西小学校)



(五霞町立五霞中学校)

